

「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知県保険医会館内
TEL ; (052)832-1349
FAX ; (052)834-3584

「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名 45,000筆を超える!! (10/16現在)

現在、「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいます。

この署名は、患者さんが窓口負担などお金の心配をせずに安心して歯科医療を受けられること、歯科医師や歯科技工士、歯科衛生士が、経営の心配をせずに保険で良い歯科医療を提供できるように、窓口負担の軽減や診療報酬の引き上げを求

め取り組んでいるものです。愛知連絡会は、60,000筆を目標に6月から署名に取り組んでおり、10月16日現在、45,045筆と目標の75%まで到達しました。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会では、27万筆以上を目標にしています。10月8日現在で、各都道府県の保険医協会の集約分が60,000筆超、民医連集約分で80,000筆超。合計の集約数は14万筆を超える署名数

引き続き請願署名にご協力を

【請願項目】

1. 安心して歯科治療が受けられるよう、現在3割の窓口負担を軽減してください。
2. 小児は永久歯が生えそろう義務教育修了まで、歯科の窓口負担を無料にしてください。
3. 高齢者が安心して歯科治療が受けられるよう、歯科の窓口負担を無料にしてください。
4. 保険で良く噛める「入れ歯」ができるようにしてください。
5. 保険で歯周病の治療・管理が十分できるようにしてください。
6. 金属床の入れ歯や白い歯の被せ物など、日常の治療で普及している保険外の治療は保険でできるようにしてください。

となっています。

この9月には、民主党を中心とした新しい政権が誕生し、医療費抑制策からの転換に期待が高まっています。今こそ、新しい国会に歯科医療改善を求める私たちの声を届けるため、ぜひ署名にご協力ください。

10/8 イレバデーには 電話相談に取り組みました



「保険で良い歯科医療」の実現を求める 請願署名集約状況 (10月16日現在)

合計	45,045筆
愛知県保険医協会	31,449筆
企業・団体の協力	5,770筆
愛知民医連	5,296筆
その他の連絡会参加団体	2,530筆

愛知県保険医協会

各団体の取り組み紹介

生協ひまわり歯科



保険医協会では、6月から「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいます。歯科医師だけでなく医師にも協力を訴え、2年前に協会が集めた署名数約25,000筆を超えました。署名数トップの歯科の先生は、患者さんや地域の方などから8,500筆以上の署名を集め、また、保険医協会につながるのある団体や業者にも協力をお願いし、5,000筆を超える署名が寄せられています。10月以降、さらに署名の上積みできるように、再度歯科会員に署名用紙を送った他、県内の歯科技工所550件に署名を送り協力を訴えました。また10月8日には歯の供養祭を開催し、市民にアピールしました。

生協ひまわり歯科でも、歯科署名に取り組んでいます。

多くの方に歯科の実情を知ってもらう事と診療室・待合室でも署名のお願いがしやすいようにと、思い切って玄関ドアに署名と宣伝パンフを拡大して張り出しました。

治療後に一声かけて、署名をお願いしたり、患者さんが待ち時間の間に署名をされたりで



署名が進んでいます。みなみ歯科診療所・ひまわり歯科合わせて2,500筆目標でやっと2,000筆近くが集まりました。



名東区と安城市の年金者組合で 出前健康講話を開催

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、地域住民に歯科医療への理解を深めてもらうために、「お口の健康出前講話」を開催しました。

9月24日(木)には、名東区生涯学習センターで年金者組合名東支部

を対象に開催し、愛知県保険医協会理事である北村恒康先生が講師を務めました。参加者は9人でした。

北村先生は、現在の歯科医院経営の厳しさを紹介した後、「より良く食べるはより良く生きる」のDVD版を参加者に視聴してもらい、事前に寄せられた「糖尿病と歯周病の関係」や「入れ歯の手入れ法」など



名東支部では北村先生(上)、安城支部では船川先生(左)が講師を務めた。

についてユーモアを交え話しました。最初から最後まで笑い声の絶えない楽しい健康講話になりました。

10月4日(日)には、安城市・作野公民館で、年金者組合安城支部を対象に出前健康講話を開催しました。講師は、愛知県保険医協会歯科地域医療委員会副委員長の船川芳洋先生で、参加者は18人でした。船川先生

今年も「いい歯」の日は
栄に集合！
11月8日(日) 午後1時から
栄街頭宣伝行動

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、「イイハデー」の11月8日(日)午後1時から2時30分まで、名古屋市・栄で街頭宣伝行動を行います。

昨年の街頭宣伝は、小雨がぱらつく中、愛知連絡会の構成団体から23人が参加して500枚以上のチラシを配布しました。

今年も昨年同様、歯の健康相談や口臭チェック、咀嚼力判定ガムでの咬合力チェックなどを行い、市民に署名の訴えと歯科医療への理解を求める行動を行います。

短時間でも結構ですのでご協力をお願いします。

は、日ごろの口腔ケアと「より良く食べるはより良く生きる」の内容や保険と自費の治療などについて説明しました。すぐに役立つ簡易な唾液マッサージの方法なども紹介しました。

どちらの健康講話も参加

者から積極的に質問が出され、講師から丁寧な回答がされました。また、現在取り組んでいる「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名には、48筆の協力がありました。

名古屋市会で「歯科医療の充実に関する意見書」が採択！

6月度名古屋市会において、「歯科医療の充実に関する意見書」が採択されました。

意見書は、特定の団体や個人の陳情・請願が出されたのではなく、自民党名古屋市議員団からの提案を全会一致で採択したとのこと。

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、結成当初から各自治体に意見書採択を請願・陳情してきました。今回の意見書採択は連絡会の請願によるものではありませんが、患者の窓口負担の軽減や、歯科診療報酬の改善などが盛り込まれており、私たちの運動が反映されたものとなっています。

以下に全文を掲載します。

歯科医療の充実に関する意見書

そしやく能力や口腔機能を維持することが全身の健康の増進や生活の質(QOL)の向上に効果があり、医療費抑制に役立っていることが8020運動によって実証されている。また、歯周病が重症化すると心筋梗塞、動脈硬化症、肺炎、早産などを引き起こす可能性があり、歯や口腔を健康に保つことは、国民の健康維持に不可欠と言える。

しかしながら、医療技術の進歩に伴う新しい治療行為の多くは保険給付の対象とされていないことから、患者の窓口負担が大きく、歯科診療が受けにくくなっている。また、歯科診療報酬は抑制されているのが実情であるが、歯科医療に関する技術の進展や保険医療における歯科の位置づけの重要性を踏まえ、診療報酬の面からも適正な技術評価を行うことが求められている。

よって、名古屋市会は、国会及び政府に対し、患者窓口負担を軽減するとともに、歯科診療報酬を改善するなど、国民が安心して良質かつ適切な歯科医療を受けられる措置を講ずるよう強く要望する。

平成21年7月7日

名古屋市会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣 宛(各1通)